



うきはでトライ!

ラグビータウンプロジェクト推進係 75-3343

■ラグビータウンプロジェクトとは

市とプロラグビーチーム「ルリー口福岡」が連携し、ラグビーを通じて地域のにぎわいづくりや人材育成、交流促進を進める取組です。選手と、地域や企業などをつなぎ、スポーツによる地域活性化を目指しています。

このプロジェクトでは、市内企業による選手の雇用や地域活動への参加など、地域全体で選手を支える取組が広がっています。今回は、そのパートナー企業の一つである「マルカ木材株式会社」と、そこで働く選手たちにお話を伺いました。



ルリー口福岡の選手が働くマルカ木材株式会社

■マルカ木材株式会社

市内に拠点を置く「マルカ木材株式会社」は、ルリー口福岡の選手を社員として受け入れているパートナー企業です。現在、野田選手と大橋選手が在籍し、日中は木材の現場で働きながら、夜はラグビーの練習に励んでいます。

ー 受け入れを決めたきっかけについて、樋口社長は次のように話します。

「ルリー口福岡が立ち上がった当初から、リーグワンを目指す熱意や、地域のために活動する姿勢に心を動かされました。地方では若者の都市部への流出が大きな課題です。少しでも力になればと思い、選手の受け入れを決めました」

ー 大学時代からラグビーに親しんできた樋口社長が大切にするのは、“One for all, All for one.”の精神です。

「選手たちが仕事にもラグビーにも全力で取り組む姿に、私自身も日々刺激を受けています。私も負けずに前へ進んでいきたいですね」

ー この取組は若者の定住促進にもつながっています。

北九州市出身の大橋選手は、関東の大学を卒業後、ルリー口福岡を通じてうきは市へ移住しました。大橋選手は、「近所の方が野菜を分けてくださったり、まち全体で応援してくれていると感じます」と地域の温かさを感じています。



野田 麟太郎 選手



大橋 興太郎 選手

滋賀県出身の野田選手も、「うきは市に来たいと思う人が少しでも増えるよう、地域に貢献していきたい」と話します。

企業で働きながら夢を追い続ける選手たちの姿は、地域に元気を届けています。企業、選手、地域が支え合う循環は、うきは市ならではの新たな魅力となっています。

初めの方も大歓迎！ 大人向けのラグビー教室



ルリー口福岡の選手やコーチが基礎的な動きから丁寧に指導します。運動習慣づくりとラグビーの魅力に触れることができます。ボールに触れ、走る、つなぐといったラグビーならではの楽しさを体感してみませんか？

■開催日 7月4日(土)、7月18日(土)、
8月1日(土)

■時間 各回 17時～18時30分

■場所 うきはアリーナ

■定員 各回 30名

■参加費 各回 1,000円/人

■申込み 各回 1週間前までに
二次元コードから申込み

